

## SRIDキャリア開発塾講師陣プロフィール



氏名： 小林文彦

自己紹介：プロジェクトファイナンスとワークアウト(企業再生と不良債権回収)のエキスパート。

多国籍・多文化ビジネス環境下での各種製造業(製紙・製鉄・食品・セメント等)・農水産業(エビ養殖・農園等)・ホテル・鉄道インフラ、鉱業等の多岐に渡るプロジェクト

ファイナンスとワークアウトで多くの修羅場を経験。

International Finance Corporation (IFC - 国際金融公社)と伊藤忠商事の計40年の業務で訪問した国は60カ国以上、その内アフリカは16カ国。米国勤務は伊藤忠商事ニューヨーク(10年)とIFCワシントン本部(11年)の計21年。

伊藤忠では、アメリカのアトランタとボストン向け2億ドル超の地下鉄車両納入契約を受注し履行管理を行う。又、アメリカの鉄道車両用エアコンメーカーを買収して経営。アジアではPublic Private Partnership(PPP)による都市交通プロジェクトに取り組む。

IFCでのワークアウト業務では、債務リストラを含む企業再生や担保行使・破産手続、ホスト国での裁判やパリ国際商業会議所の仲裁などを活用した紛争解決も手がける。

2011年に第13回ハーバードビジネススクール・アフリカビジネスコンファランスでアフリカでの企業再生に関するワークショップにパネリストとして招聘される。

2015年にIFCを62才で定年退職して日本に帰国後はプロジェクトファイナンスやワークアウト、開発援助、さらにグローバルに働いた経験などを若い世代に伝えるべく、国際大学、名古屋工業大学、山梨大学、国際協力機構などで講義・講演を行う。名古屋工業大学大学院よりは非常勤講師を委嘱された。

**学歴**：1975年 山梨大学工学部機械工学科卒業

2002年 ハーバードビジネススクールAdvanced Management Program終了

**職歴**：

伊藤忠商事(株)

1975 - 2004

インフラプロジェクト課長、アセットマネジメント室長、プラントプロジェクト部門長補佐などを歴任。1984-1994年ニューヨーク駐在

**International Finance Corporation**(国際金融公社)ワシントン本部 2004 - 2015

Chief Special Operations Officer (主席特務担当官)として2015年に定年退職